

Save the Omizunagidori

御蔵島のオオミズナギドリを 守りたい

—自然や生きものが好きな、すべての皆さんへ—

イルカと泳げる島として有名な伊豆諸島の御蔵島は、オオミズナギドリの世界最大の繁殖地です。しかし、野生化した元飼いネコとその子孫による食害などにより、全滅の危機に瀕しています。自然や生きものを愛する全ての人たちで力を合わせ、この問題に対して「できること」を一緒に見つけ、実践していきませんか？

御蔵島のオオミズナギドリを守りたい有志の会 長谷川 潤／草地ゆき





オオミズナギドリって、どんな鳥？

オオミズナギドリは、春から秋に日本近海などで繁殖を行なう渡り鳥。御蔵島には毎年春に飛来して1つの卵を大事に育て、子育ての終わる秋になると南方へと旅立ちます。御蔵島にいる間は森に巣穴を掘ってつがいで暮らし、オスメスが交代で卵やヒナを守ります。もう片方の親は海へカタクチワシなどのエサを捕りに出かけますが、より栄養豊富なエサを求め、時には近海だけでなく三陸や北海道沖へと遠征します。遠くまで飛ぶ事を優先して進化してきた為、海上では風を切るように飛翔し飛び回る事ができますが、地上に着地したり池面から飛び立ったりすることは得意ではありません。その為、木の枝にわざとぶつかって落ちるように着地したり、崖や木の上から飛び降りるようにして飛び立ったりします。



どうして守る必要があるの？

オオミズナギドリは陸上にうまく着地できず、すぐに飛び立つこともできない為、野生化ネコやカラスに狙われ、簡単に捕食されてしまいます。また、人工物の隙間に挟まったり、アスファルトに激突したりしてしまい命を落とすこともある他、海に流れたプラスチックを多く誤飲していることも判明しています。世界一の繁殖地である御蔵島では約9割も個体数が減少していると言われており、早急な対策が望まれています。最も大きな原因と考えられている野生化ネコ問題に関しては、ネコに繁殖抑制のための手術をしたり、ネコを森から連れ出して飼い主探しをしたりする活動が行われています。



どうやったら守れるの？

守ることは、知ることから。まずは気軽に始めてみませんか？

①ホームページやFacebookを見る、伝える

私達のホームページやFacebookで、様々な情報を発信しています。

興味のある内容を見つけたら、他の人に話したり投稿をシェアしたりして、周囲の人に伝えましょう。

②オオミズナギドリの観察ツアーに参加する

御蔵島では、夜のオオミズナギドリ観察ツアーが開催されています。夜の森では、オスメスが鳴き交わす声を聞いたり、オオミズナギドリがヨチヨチ歩いて巣穴へ戻る姿を観察したりすることができます。ユーモラスな姿を楽しんだら、その愛らしさを周囲の人に伝えましょう。（注：ガイド無しで御蔵島の森の中に入ることはできません）

③ネコの飼い主募集などの活動に参加する、応援する

私達は、御蔵島内だけでなく都内近郊での活動も行なっています。野生化ネコの飼い主や一時預かりボランティアを常時募集している他、イベントなどに合わせて様々なボランティアを募集していることもあります。また、ご事情により直接の参加が難しい方でも、情報を周りの人に伝えたり物資をご支援くださったりという形で、活動にご参加いただけます。ぜひ、私達の活動をサポートしていただければ幸いです。

「できること」を一緒に見つけ、実践していきませんか？

御蔵島のオオミズナギドリを守りたい有志の会 長谷川 潤・草地 ゆき

活動報告・森ネコ里親募集・ボランティア募集などの情報を発信しています。

Google検索「オオミズナギドリを守りたい」 <https://oomizunagidori.jimdo.com>

Facebook内検索「オオミズナギドリ」 <https://www.facebook.com/SaveTheOmizunagidori>

